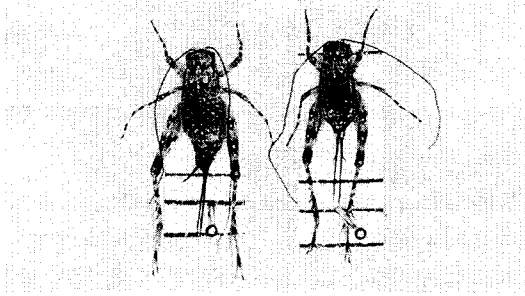


長野県豊丘村の天竜川河川敷で ハマスズを採集

四方 圭一郎



左：豊丘村小園産 右：豊丘村中芝産

ハマスズ *Pteronemobius csikii* (Bolivar) は、海岸や河川にみられる砂地に生息する小型のコオロギである。長野県内では、駒ヶ根市付近の天竜川と、南信濃村の遠山川河川敷の2ヶ所で生息が確認されている(小林1997, 南信濃村教育委員会1998)。筆者は、飯田市美術館で行われた天竜川展のための調査時に、豊丘村の天竜川河川敷2ヶ所で本種を採集しているので報告する。

1♀, 豊丘村中芝 (alt.430m), 3. X. 1998, 筆者採集・飯田市美術館保管。

1♀, 豊丘村小園 (alt.430m), 11. X. 1998, 筆者採集・飯田市美術館保管。

いずれの個体も、日中砂地の上を跳ねているところを発見し採集した。

天竜川の河川敷には堆砂地が所々に見られ、本種その他、砂礫地を好む種類としてカワラバッタ、クルマバッタモドキ、オサムシモドキ、マダラスズ、オオハサミムシなども同時に確認された。

天竜川においては、ダムの建設等による河床の安定により、本種の生息するような堆砂地や砂礫地が植物で覆われ減少している。河川敷の砂礫地を生息地とする昆虫類の分布を早急に調査し、記録していく必要がある。

末筆であるが、本種を同定していただいた飯田高校の小林正明先生にお礼を申しあげる。

○参考文献

小林正明, 1997, 伊那谷の秋鳴く虫, 伊那谷自然友の会編「伊那谷の自然Ⅱ」, 142-145, 社団法人中部建設協会, 愛知。

南信濃村教育委員会, 1998, 遠山郷に生きる動物たち, 237p. 南信濃村。

(しかた けいいちろう/飯田市美術館)